

二級河川梅田川多自然川づくり検討会議（第1回）

○梅田川多自然川づくり検討会議

「二級河川梅田川水系河川整備計画」に基づき、河道改修の基本設計を進めるにあたり、**有識者よりご意見・ご助言**を聴取しながら、**治水と利水・環境を融合したよりよい川づくり**の検討を行い、多自然川づくり計画として取りまとめることを目的とする。

会議概要

- 日時 令和2年7月2日(木) 13時～17時
- 場所 愛知県東三河建設事務所
- 構成メンバー
有識者、愛知県河川課、愛知県東三河建設事務所、豊橋市河川課
- 有識者

氏名・所属	分野
吉村 伸一氏 (吉村伸一流域計画室 代表)	河川
長谷川 明子氏 (ビオトープ・ネットワーク中部 会長)	環境
林田 寿文氏 (土木研究所自然共生研究センター 主任研究員)	河川
坂本 貴啓氏 (土木研究所自然共生研究センター 専門研究員)	地域連携

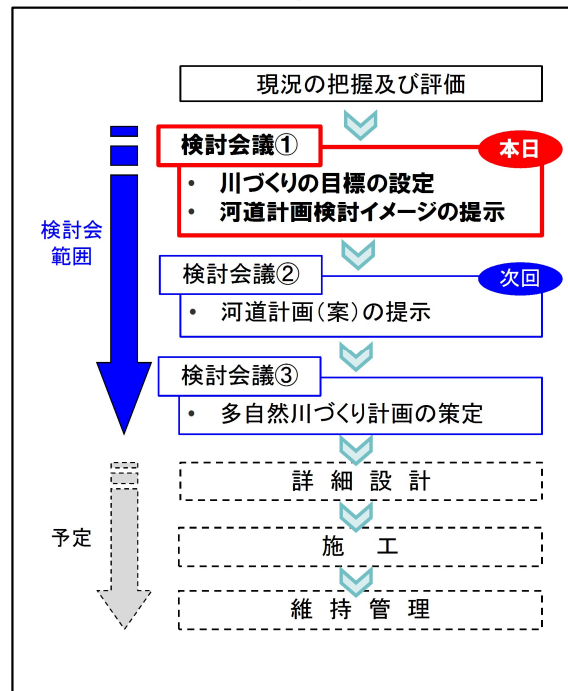
状況写真

＜ 左：現地視察 右：会議状況 ＞



検討会議での主な議題

＜多自然川づくり検討の進め方＞



＜梅田川川づくり目標（案）＞

多様な生物が繁殖・生息・生育可能な**河川環境**（河道・河床・植生）を有し、**親しみや興味**を持ってもらえる**魅力のある環境**の梅田川を創出・維持する。

（取り組みの方向性）

- ◆ **変化ある川の流れ、多様な生き物のすみか**となる梅田川を創出・維持する。
- ◆ **ふれあいの場、遊びの場、学びの場**となる梅田川を創出・維持する。
- ◆ **周辺環境と調和し、魅力ある河川景観**の梅田川を創出・維持する。

＜有識者からの主な意見＞

- ・ 水辺空間のためにどうスペースを生み出すかが重要。
- ・ 河道内の植物、生物について、どう安定させ、維持させるかが重要。
- ・ 木がある場所、草がある場所などゾーニングして整備することを考えると良い。
- ・ 多自然型川づくりから30年の節目の年、このような取り組みが全国に広がると良いと思う。

＜河道計画の検討イメージ（案）＞

【検討のポイント】

砂礫洲の保全、瀬や緩流域の保全再生、水際部の植生、水生生物の生息環境の保全、親水施設、遊歩道、水辺へのアプローチ、多様な河川景観、田園と調和した景観

